

子育て世代に向けた災害教訓伝承動画を YouTube で公開！

～お二人の語り部から、小さな子どもたちを守る立場の方々へのメッセージ～

2024年元旦に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

日本損害保険協会東北支部（委員長：原 直人・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員・東北地域担当）は、災害教訓伝承動画「災害から小さな子どもたちを守るために～東日本大震災の教訓から～」を YouTube で公開しました。

2023年は関東大震災から100年、東北においても日本海中部地震から40年の節目の年でした。東日本大震災（以下「震災」という）からも12年が過ぎ、災害の記憶の風化が叫ばれる中、防災事業に関わる多くの方が懸念・課題の一つと認識している「災害教訓の伝承」について、損害保険の事業者団体である協会東北支部としても発信し、より多くの皆さんに防災への関心を持ってもらう機会とするため作成したものです。

平日の日中に発生した震災では、家族や大切な人が別々の場所で被災するケースが大半でした。自分の身を自分で守るために行動することが大事ですが、まだ自分で判断することのできない小さな子どもにとっては、**保護者**はもちろんのこと、**預け先である幼稚園や保育園などの施設**における対応も、非常に重要になってきます。

今回、震災で当時6歳のお子様を亡くされた 佐藤 美香さん、震災当時保育所長で園児たちの避難を指示した 佐竹 悦子さん お二人にお話を伺い、小さな子どもたちの命を守るためにどのような意識を持ち行動すればよいか、保護者と預け先との関係のあり方や、家庭での取り組み方などについてお聞きしました。

震災後、親や祖父母になったり、進学や就職したりと、多くの方が当時とは異なるライフステージになっているかと思います。お二方の「**子どもの命を守りたい**」という想いに触れ、保護者の方や、幼稚園や保育園など子どもを預かる立場の方、地域で子どもたちを見守る立場の方など、今まさに、小さな子どもに携わっている方々に、是非ご視聴いただけますと幸いです。

【掲載リンク】

<https://youtu.be/6fel-H5U9o4>

*QR コードからもアクセスできます



【ご出演いただいた語り部】

佐藤 美香さん（宮城県石巻市）

津波で幼稚園バスが流され、その後の火災により、当時6歳のお子様を亡くされる。震災後、遺族有志の会を立ち上げ、子どもたちの安全を守るための語り部・講演活動を行っている。



佐竹 悦子さん（宮城県名取市）

震災当時、名取市立閑上保育所の所長。独自に作成した避難マニュアルに基づき、全園児を避難させ、保護者に引き渡す。震災後、防災教育の市民団体「ゆりあげかもめ」を立ち上げ、経験を伝える活動を行っている。



【企画】

制作：一般社団法人日本損害保険協会 東北支部

後援：東北財務局、宮城県、仙台市、一般社団法人宮城県損害保険代理業協会

取材協力：東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤 翔輔 氏

宮城教育大学 統括プロフェッサー 特任教授 武田 真一 氏

以上